

しんりん

2023年1月号

vol.128

〒949-8311 新潟県中魚沼郡津南町中深見乙2176
発行/津南町森林組合 TEL.025-765-2510



さんさん事業（貝坂地区）

新年のお慶びを申し上げます

代表理事組合長 涌井 九八郎

組合員の皆様におかれましては健やかな新年を迎えられたこととお慶びを申し上げます。

新型コロナウイルスの世界的な蔓延が始まって既に三年が経とうとしています。この間日本経済も大きな影響を受けていますが、更に昨年二月からのロシアによるウクライナ侵攻は世界の物流にも極めて大きな問題を起こしています。特に資源や原料輸入国である日本にとって原油や穀物、物流費の大幅な値上がり円安は甚大な影響を及ぼし続けている他、当組合もかつてない厳しい状況が続いています。物価の優等生といわれる豆腐やモヤシ、卵や牛乳生産においては僅かな値上げが行われたものの、このままでは経営の継続は風前の灯となりかねません。

当組合においてもコロナの影響が続くとともに、昨夏からの電気料の大幅な値上がりで経営面において更に厳しい状況に至っています。特にきのこ生産においては生産費に占める電気料の割合が極めて高く経営を圧迫するとともに、生鮮品として価格転嫁はほぼ不可能で町内生産組織と同様きのこ部門は存続の危機にあります。

この様な厳しい一年ではありましたが、さんさん事業では順番待ちの状況が続くとともに、秋には第一回目となる町営高野山牧場跡地へのブナ植林及び組合構内外においての森林まつりを実施することができました。両行事とも町内外から多くの参加を頂くとともに高評価も頂き、これからも継続実施して行く予定です。今年こそコロナや諸課題を乗り越える組合経営を目指して参りますので、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

本年が組合員並びに多くの皆様にとりまして、より輝かしい年となりますようご祈念申し上げ年頭の挨拶とさせていただきます。

第五代組合長

山田佐内さんを偲んで



第五代組合長山田佐内氏が令和四年十月十三日に逝去されました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

組合に人生をかけたといっても過言ではない山田氏の人生でした。組合設立から成長拡大への多大な功績に言葉では表現出来ない感謝がこみ上げてきます。

林種転換造林、木彫、うるし塗装、桐共販、オガ製造、きのこ培養センター建設、葉ワサビ栽培と目まぐるしい事業展開をし、昭和六十二年農林水産業振興で新潟県知事表彰を受けるとともに、六十三年には全国で二ヶ所の林野庁モデル映画に選ばれました。また、平成元年には、林業一筋に歩んでいる功績に黄綬褒章を受章されました。

現在、組合の主部門である特産部門は、日本食研H.D株式会社様との取り引きで売り上げをのばしています。昭和六十二年、

当時の大沢社長がご令嬢とともに来森いただき、大沢社長から五分間で組合のピールをせよとのことで「津南はへんびな所です。でも、津南産の商品をたくさん売ること、雇用の場が広がり、津南は活性します」と山田氏は答えたそうです。以後、商品提案、アイデアをいただき、末永いお取引を願ったと振り返っていました。

山田組合長の思い出

OB退職当時参事・富澤春江

森林組合設立当初の昭和四十年代は、まだ女性の社会的地位は低く、会社勤めでは、お茶くみ、結婚退社が一般的でしたが、山田組合長は（当時は専務理事）は女性の特質を生かした配置をし男性職員と同等な仕事を与えてくれました。

町内はもちろん、県内でも抜きん出た取り組みであったと思います。仕事は多く、大変厳しかったけど、働きがいを持って勤め続けることができました。

日本生命様より寄付を頂きました



十二月十四日日本生命長岡支社津南営業部の松橋部長様、関口様が来森され当組合に対し十万円を寄付されました。

日本生命では「ニッセイの森友の会」が設立され、本年が設立三十周年になることから「森林環境保全整備事業団体への寄付」を行うこととなり、長岡支社管

令和4年度
自衛消防訓練
の実施！

毎年恒例の防火訓練、避難訓練を行いました。実際に火事が起きた場合に慌てることなくスムーズに避難できるように緊張感を持って、日頃からの訓練が大事になります。



ぜひ、各ご家庭でも避難経路など、もう一度ご確認されてはいかがでしょうか？

コンプライアンス研修



令和四年十一月十五日に新潟県森林組合連合会、指導管理部長の今井氏よりお話をしていたいただきました。今回もコロナが収束していないこともあり、リモートでの講習となりました。

コンプライアンスについて役員全員で研修を行い、就業規則・マニュアルなどを守ることを。また、社会人としての常識ある行動をすることが必要であることを再認識した貴重な時間になりました。

※コンプライアンス

法令遵守だけでなく社内規定、企業倫理、社会人としての倫理、社会貢献、企業リスクの回避のためのルール作り、その運用と環境整備まで広く含まれる。

第1回

森林まつり

を開催しました！

去る十一月五日、今回初めての試みで、町内外の皆様にも津南町森林組合の事業を知っていただく機会として「森林まつり」を実施しました。

当日は曇り空ではありませんでしたが、町内外・職員のご家族など総勢約百五十名の方々が組合に足を運んで下さり、森林整備作業見学、食品・なめこ工場見学・ジオパークトレイル体験などの様々なイベントに大勢の参加をいただきました。来場された皆様には、なめこ汁サービスもあり大変美味しかったと好評でした。

また、コロナの収束が見えない中で感染対策を実施しながらの開催ではありましたが、無事に終わることができましたことに感謝申し上げます。

また、頂いた貴重なご意見を参考にし、改善を加えて来年以降も実施してまいります。



きのこ販売



なめこ汁サービス

スウェーデン
トーチ

トレイル

見倉橋



小豆坂登止

駒打ち
体験

紅葉



天然なめこ



工作



第1回「緑の森づくり」植樹祭を開催しました

昨年10月29日に旧町営高野山牧場にて広葉樹植栽を行い、面積3000㎡に500本のブナ苗を植える作業を町内外多数の方からご参加いただきました。

この事業は森林環境譲与税を活用し、町の協力を得るなかで津南中等教育学校、森の三方良しの皆様も含めて植栽を実施しました。来年度以降はブナ苗だけでなく、トチやキハダ等、実や花の付く季節を感じられる植栽をしていく予定です。

皆さんも一緒に水源涵養や生物多様性をめざした未来の津南町を作っていきますか。



参加いただいた30代女性の方からお話を伺いました。

林業に興味があったこともあり参加してみようと思いました。沢山の樹を植えることができて楽しかったです。どう育っていくのか、その先の手入れなどもあり大変かと思いますが、来年も参加したいです。



●きのこ部●



生しいたけの原産地表示が変わりました。

鍋の季節になりました。鍋に入るとおいしい生シイタケのお話です。

生しいたけは近年外国で製造した菌床（オガ粉に種菌を接種したもの）を輸入し日本国内で発生させ収穫したものの流通量が増加しています。商品の産地は国産表示となっています。消費者が区別することができない状態となっているため、原産地表示のルールが変更になりました。

（令和4年10月～）

【原産地の表示】 輸入菌床製造 A外国 原産地：A国
国内菌床製造 B県 原産地：B県

尚採取地は任意で表示できます。

右ラベルは、津南産しいたけラベルの例です。

津南町でも秋から春の期間、9軒の生産者により、16tの高品質な椎茸が県内に出荷されています。

近くのスーパーの店頭でも販売されています。

安全安心でおいしい新潟県産シイタケをご利用ください。

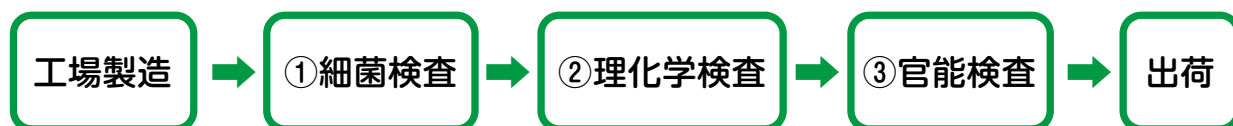


特産部

昨今「食の安全」に対して消費者は日常高い関心を持っており、食品製造業には食品を安全に食卓に届ける責務が一段と高く求められています。そんな中、我々特産部は各工場で商品を製造し、その内2～4袋を品質管理に持ち込み自主検査を行っており、安心して安全な商品を消費者に届くよう努力しています。今回は、そんな品質管理業務についてご紹介していこうと思います。品質管理係は現在女性3名の職員で日々検査業務を行っています。工場では約40種類の商品を製造する事ができ、製造した商品には各々自主管理基準値があります。それらの商品が基準値内におさまっているか、味は変わらないのかなどを検査し、製品を保証したうえで出荷しています。気を抜くことが出来ず日々ピリピリとした空気の中で作業をしています。

こうして組合の製品は守られている

品質管理係



①細菌検査

一般生菌	大腸菌・大腸菌群	黄色ブドウ球菌	サルモネラ属菌	真菌・カビ菌
●	●	●	●	●

1～2袋を各操作方法で検査する。



細菌検査

②理化学検査

Brix（糖度）	PH	NaCl（塩分）	重量
●	●	●	●

開封して各機器で数値を計測（Brix計、PHメーター計、塩分分析計、電子秤）して記録する。



PHメーター計

塩分分析計

Brix計

③官能検査

外観	臭気	食感	呈味
●	●	●	●

製品の外観（色調、形状）、臭気、食感、呈味を機器では計れないので人間の五感で確認



私たちに おまかせ下さい。
消費者様に、安心・安全をお届けいたします。

きのこ編



<その1> シイタケ

きのこは菌類に属し、その中でも種類によって発生条件が異なっており、自然条件下においては気温によるところが大きく1年に1回しか発生しないもの、春秋の2回或いは年に何回も発生する物と多様です。

第1回目として最も栽培履歴が古いシイタケを取り上げたいと思います。シイタケはナラ類やクヌギ・シイ・カシなど広葉樹の枯れ幹や切り株に春秋に生えるきのこですが、津南地域での自然発生は滅多に見ることはありません。しかしながらきのここと言えばシイタケを指すほど身近なきのこで、そのままの形で食べたことがなくても日本料理の出汁には必ず使われている程無くてはならない、しかも一般的なきのこです。

シイタケの渡来は弘法大師が乾しシイタケの食習慣を伝えたという説もあり、その頃から料理に使われていたのではないかと云われています。ま

たシイタケの人工栽培は17世紀豊後の国(大分県)で始まったとの記述もあり、以来乾しシイタケは大分県と静岡県が最大の産地を維持してきた歴史もあり、明治から戦後まで日本の一大輸出産業でもありました。

近年はホダ木栽培から施設での菌床栽培が圧倒的に多くなり、利用の仕方も生シイタケをそのまま料理に使うことが多くなっています。この津南においても9軒の農家や団体が冬場を中心に栽培に取り組んでいます。

一時期中国から生シイタケが多く輸入されたことがありましたが、近年は中国から菌床ブロックの輸入が急増し日本国内で発生させたものが国産として販売され、これが課題となっていました。昨年漸く表示方法が見直されました。



お知らせ

森林組合総代の皆様へ
第56期通常総代会
3月19日(日)

御多忙中とは存じますが、
ご協力をお願い申し上げます。

職員募集

(食品、きのこ、森林)

津南町森林組合と一緒に働いてみませんか！

工場見学できますのでお気軽にご連絡ください。

総務部 津端まで TEL 025-765-2510

あとかき

新年あけましておめでとうございます。

なかなか引かない感染症の波を鎮めたい。そんな思いを込めてひとり気合を入れてみようと思います。

小さい声で言いますね。

**ウ(卵)ー！
パワー！**



本年もどうぞ
よろしくお願いいたします!!

職員紹介

● 特産部 ●

おおしま たける
太島 健 (十日町市茅沢)



勤続10年。特産部第3工場では原材料の下処理や仕掛品の保管作業を担当している。同僚評は「優しい」「安心して仕事を任せられる」と人望も厚い。

好きな言葉は『ポジティブ』『挑戦』。小学生の頃から陸上を始め、昨年は県駅伝競走大会に出場。無理のない範囲でコツコツと継続することをモットーに日々練習を続けている。

走りながら季節の移ろいを感じられる心地良さ、走った後の爽快感が良い。走ることで頭の中をクリーンな状態にすることができ、毎日が生き生きと過ごせる!とポジティブに走ることの醍醐味を語る。



休日にはおいしいスイーツやパンを探しに家族で出かけるスイーツ男子な一面も。

フルマラソンにも挑戦しており2時間50分で走ることが今の目標!

森林組合のエース!目標に向かって走れ~!!